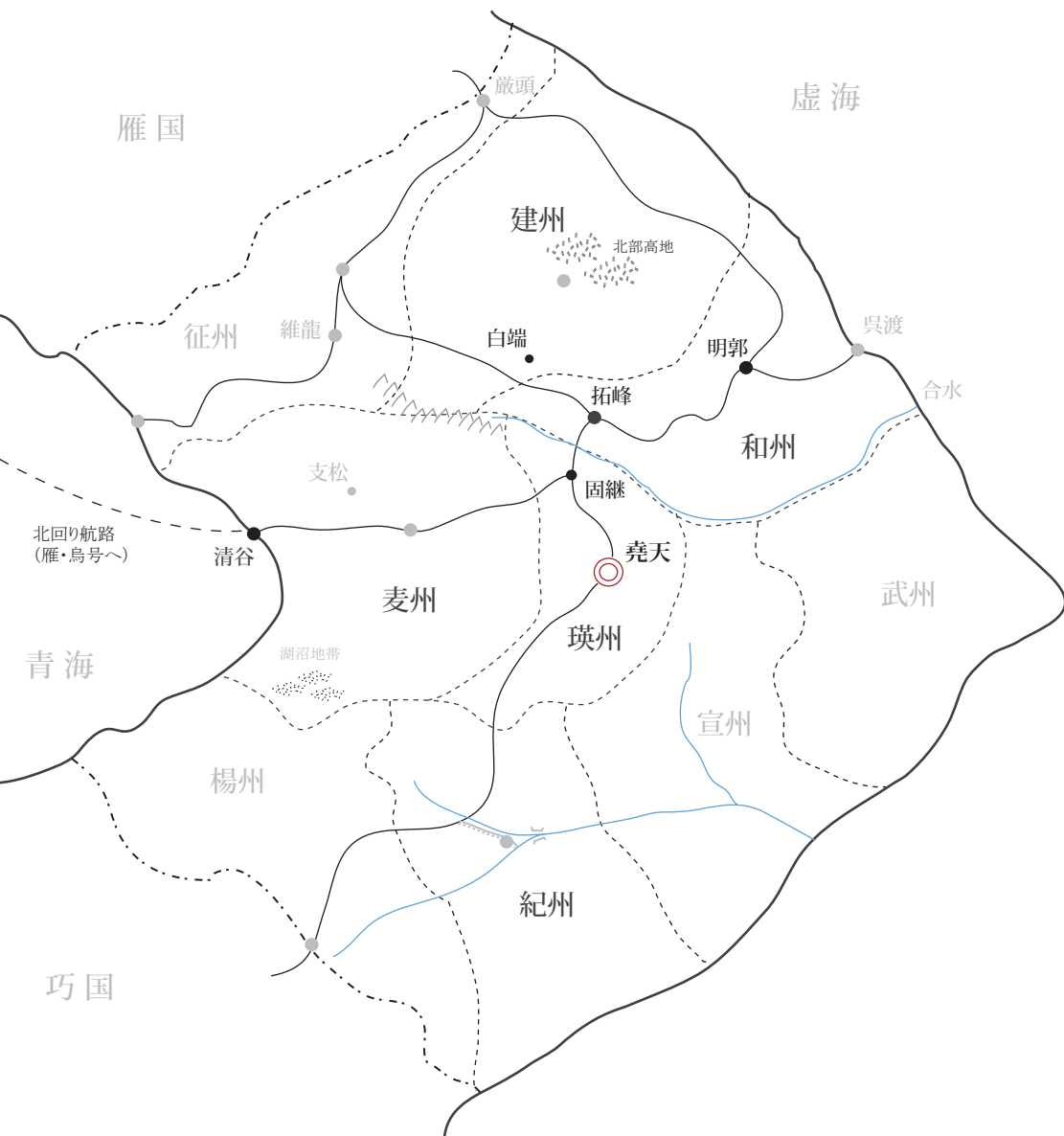


新刊・既刊の収録作品中に、慶国各州の地名・街道などが登場するため
小さな付録として地図を作成しました。
原作の資料を基にしていますが、自作の二次創作的地図であり
当サイト内に限った設定&解説ですので、その旨ご了承下さい。
同書をお読み頂くときの一助になれば幸いです。

BOOK OF YEARS I & II

に登場する地名・街道



麦州

余州八州で最も豊かな西部の州。建州との州境には山脈が控え、ここから瑛州と和州の境界である合水が生まれて虚海に流れ込んでいる。北部にはかつて松塾があった支松(古名・支錦)、南部には湖沼地帯があり、後者は風光明媚な景勝地として名高い。(これは既作「離騒」で一行のみ登場。煩惱シアターでは非常にクリアな映像が見えているものの、今後の登場は未定)

清谷: 青海に面した慶国最大の港湾都市。地の利を活かし、古くから商都として名高い。名前の由来は、内陸に切れ込んで谷間を成す天然の良港的地形から。

麦州街道: 内海の港・清谷と首都州・瑛州を結ぶ大街道。



紀州

水と自然に恵まれた南部の州。春の美しさで特に名高い。領内に河川が多い穀倉地帯でもあるが、古来治水の問題を抱えており、過去何度か甚大な被害に見舞われている。直近では予青後期に大規模な氾濫があった。(この辺の事情も煩惱シアターではぼんやり見えているものの…以下略)

南部の治水: 達王の時代に各地で堰・運河・堤防などが建設されていたが、以降の内乱時代に大半の機能が失われる。赤楽朝に入り、これらを基にした再建工事が行われ、国全体の復興の基盤となった。(既出「自由、夜」「花鳥使」)



建州

北東部に位置する州。東側で虚海に接し、中央部は山塊が点在する高地になっている。雁との国境から続く街道が東の沿岸を通っている。気候は、季節風の影響を受ける北部沿岸・山塊の多い中央高地では寒冷だが、内陸南部に近づくほど温暖になる。白端もこの地域に位置する。

白端: 茶の産地として名高く、ここで生産される団茶は非常に高値で取引される。最高級品は特に白端蓮心と呼ばれ、国の内外で珍重されている。

紙面が小さいため、細部については涙を吞んで省略してあります。

できることならA3くらいの大きさで、各州の地形から旧所名跡まで盛り込んだ詳細な慶国全土図を作れたらいいのに…!と今回しみじみ思ったのですが、よくよく考えれば当方は地図サイトではなく、景陽小説サイト。この組み合わせを永遠の基盤として、以下のURLに棲息しております。